

小山市事務事業評価シート

令和3年度版

No.	2
-----	---

1. 基本情報				3. Check - 評価 -						
<1> 事業・業務名	渡良瀬遊水地（第2調節池）湿地保全推進事業		<2> 事業・業務の別	事業		実績評価	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か？	1. 妥当である		
<3> 選定基準	③ その他		<4> 継続業務・新規業務の別	継続業務			<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か？	1. 妥当である		
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	6 人と自然が共生した 地球にやさしいくらしづくり	<6> 担当部(局)	総合政策部			<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか？	2. 変わらずにある		
	中項目	6-1 守り育てる環境共生のまち	<7> 担当所属	自然共生課			<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か？	1. 妥当である		
	小項目	6-1-1 環境保全・生物多様性	<8> 担当係等	渡良瀬遊水地係			<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか？	1. 向上の余地はある		
	施策	7. 生物多様性おやま行動計画					<29> 総合計画基本計画施策への貢献度は大きいのか？	2. 中位		
<9>根拠法令・計画等	生物多様性おやま行動計画		<10>関連・類似事業	渡良瀬遊水地観光地化推進事業			<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか？	1. 向上の余地はある		
<11> 会計	一般	会計	<12>予算科目	2 款 1 項 7 目			<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か？	1. 検討可能である		
<13>実施期間	年度 ~ 年度		<14>全体事業費	千円			<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか？	4. 該当しない		
<15>実施手法	直営		「その他」の場合 ()							
2. Do - 実施 -				4. Action - 改善 -						
<16> 事業・業務の概要	自然観察・体験の場を提供する「エコミュージアム」の整備・実現に向け、渡良瀬遊水地の湿地環境及び湿地性希少植物の保全を図るため、関係機関・団体やボランティアの協力のもと、湿地の希少植物の生育に悪影響を及ぼすヤナギやセイタカアワダチソウの抜取り作業を実施している。また、活動を通して、より多くの方に渡良瀬遊水地の貴重な環境に触れていただく他、表彰制度の活用により、団体や企業の保全活動への関心を高め、CSR活動への移行を目指す。			<33> 総合評価	2. 改善の余地はある		理由 渡良瀬遊水地内の湿地性希少植物の生育に悪影響を及ぼすヤナギやセイタカアワダチソウの生育量を減らすために、渡良瀬遊水地湿地保全への理解をいただきながら、作業を行っていただく人数を増やすと同時に、作業を行うエリアを広げる必要がある。そのため、新たな団体・企業に参加してもらえよう引き続き周知を行う必要があると考える。			
目的	<17>事業・業務の目的 渡良瀬遊水地第2調節池環境学習フィールドの、湿地環境及び湿地性希少植物の保全のため			事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 企業等のCSR活動としての活用を、表彰制度等を進めているが、新たな参加者を増やすべく、引き続き周知を行う。また、小中学生などの参加が少ないこともあり、環境教育という側面から、参加者を増やしていけるよう周知を行う。					
	<18>事業・業務の対象 渡良瀬遊水地第2調節池環境学習フィールド及び関係機関・団体、ボランティア									
手段	<19>令和2年度の活動内容 ①渡良瀬遊水地第2調節池環境学習フィールド3及び1（12月のみ）においてヤナギやセイタカアワダチソウをはじめ湿地環境に悪影響を与える植物の除去活動を実施した。また、年間を通して開催周知をした。 （5・7・10・12・2月の全5回実施予定であったが新型コロナの影響により10月・12月のみ実施） ②令和元年度の除去活動の全ての回に5人以上で参加した企業・団体を「令和元年度渡良瀬遊水地湿地保全サポート団体」とし感謝状を贈呈する制度を実施し、15団体を任命した。 （新型コロナの影響により、令和2年度の表彰制度は中止。表彰団体は0となったが多くの団体が参加）									
<20>活動指標（活動した量や実績）	指標名	単位	令和元年度 計画 実績					令和2年度 計画 実績	令和3年度 計画 計画	令和4年度 計画 計画
	チラシ配布	枚	8,000 8,000	8,000 8,000	5000	5000				
	ポスター配布	枚	200 200	200 200	100	100				
成果	<21>事業・業務の成果 ①除去活動を継続的に実施することにより渡良瀬遊水地内で良質な湿地環境が保全され、渡良瀬遊水地内の絶滅危惧種をはじめとする湿地性希少植物保全及びコウノトリ繁殖に必要な採餌環境を形成していく。 ②団体や企業を表彰することによりそれぞれのCSR活動としてPRできる形になり、今後それぞれで自主的に活動を進めていくきっかけとなる。			事業の方向性	<35> 1次評価 所属長 3. 現状維持 理由 様々な状況下の中においても、渡良瀬遊水地湿地保全への理解や多様な関係団体や市民との連携・協働のもと湿地保全活動が行われており、また、この活動は絶滅危惧種を含む湿地性希少植物保全やコウノトリ野外繁殖に必要な採餌環境形成などの一助となっている。今後も官民一体での保全活動を行う事により、渡良瀬遊水地湿地保全への理解や渡良瀬遊水池内の湿地性希少植物保全やコウノトリ野外繁殖に必要な採餌環境形成がより進むものとする。					
<22>成果指標（活動の成果の量や実績）	指標名	単位	令和元年度 計画 実績					令和2年度 計画 実績	令和3年度 計画 計画	令和4年度 計画 計画
	参加者（1回平均）	人	700 533					700 250	700	700
	小山市渡良瀬遊水地湿地保全サポート団体	団体/年	15 15	15 0	15	15				
資源	<23>投入指標（投入するお金の量）			事業の計画	<36> 2次評価 所管部長 3. 現状維持 理由 コウノトリをシンボルとした貴重な湿地環境を保全し、未来につないでいくためには、幅広い主体が関わり、継続的に外来植物除去等の湿地保全活動が実施されることが重要であることから、周辺自治体との役割分担のもと、市独自の制度等も活用しながら、参加者の幅を広げてほしい。					
	コスト実績	単位	令和元年度 計画(予算) 実績(決算)					令和2年度 計画(予算) 実績(決算)	令和3年度 計画(予算) 計画(予算)	令和4年度 計画(予算) 計画(予算)
	事業費等	千円	2,785 2,640					2,346 2,346	2,346	2,346
	財源内訳	千円	652 507					206 206	206	206
	国・県補助金	千円	652 507							
	地方債	千円								
	その他	千円		206 206	206	206				
	一般財源	千円		206 206	206	206				
	人件費	千円	2,133 2,133	2,140 2,140	2,140	2,140				
	正職員	千円 × 人役	7,108 × 0.3 7,108 × 0.3	7,132 × 0.3 7,132 × 0.3	7,132 × 0.3	7,132 × 0.3				
	他の職員	千円 × 人役	× ×	× ×	×	×				
					<37>実施計画・今後の方針	年間全3回実施。 引き続き表彰制度を活用して参加者の増加を働きかける。				
					<38>活動・成果目標	渡良瀬遊水地の湿地環境及び湿地性希少植物の保全を行うとともに、より多くの市民等の環境保全への理解を深めるきっかけとする。				

